

広島県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と
主原因3物質（令和4年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 ⁶ L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	大竹市	23,681,092	EPN 22,320,000	2-ブテナール 372,600	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 283,900
2	安芸高田 市	13,587,493	EPN 13,176,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 278,800	カドミウム及びその化合物 60,500
3	三次市	9,600,610	EPN 9,456,000	ポリ塩化ビフェニル類(PCB) 56,800	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 52,190
4	三原市	1,589,251	EPN 1,536,000	ポリ(オキシエチレン)アルキルエーテル (C:12-15及びその混合物) 32,400	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 10,880
5	廿日市市	996,878	EPN 984,000	亜鉛の水溶性化合物 10,801	無機シアン化合物(錯塩及びシアン酸塩 を除く。) 779
6	呉市	963,986	2,2-ジブロモ-2-シアノアセトアミド 720,000	ポリ(オキシエチレン)ドデシルエーテル 硫酸エステルナトリウム 160,000	ドデシル硫酸ナトリウム 34,200
7	竹原市	663,526	EPN 432,000	セレン及びその化合物 180,100	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 29,580
8	広島市南 区	351,377	ニッケル化合物 255,000	亜鉛の水溶性化合物 89,430	ふっ化水素及びその水溶性塩 4,524